

《協定》



正確な情報をいち早く発信

琉球朝日放送株式会社(QAB)と 防災パートナーシップ協定を締結

8月12日(水)、糸満市と琉球朝日放送株式会社(QAB)が防災パートナーシップに関する協定締結式を市役所で行いました。同協定は、災害時に迅速かつ確かな災害・防災情報を伝えるため締結されました。小禄邦一郎代表取締役は「災害時はフェイクニュースが拡散しやすく、市民の安全確保のために確かな情報発信が重要です。市が発信する情報を基に、正確で迅速な報道を心がけます」と話しました。

《表敬》



市内のマンゴー農家が県コンテストで快挙！

第19回沖縄県マンゴーコンテスト 受賞報告

7月9日(木)に第19回沖縄県マンゴーコンテストが開催され、緑'sファームの山城裕樹さん、真吾さんが最優秀賞の沖縄県知事賞、有限会社コーラルファームの杉本翔哉さんが優秀賞の沖縄共同青果株式会社代表取締役社長賞に輝き、その喜びを報告するため、8月3日(月)に市役所を訪れました。山城真吾さんは「台風が3回来たので大変な時期がありましたが、良いマンゴーができました」と話しました。

《表敬》



首里城の復元と美術振興の架け橋

西村貞雄さんが 第70回沖縄タイムス賞受賞

第70回(2026年度)沖縄タイムス賞(文化部門)を受賞した西村貞雄さんが、その喜びを報告するため、7月29日(水)に市役所を訪れました。西村さんは「今まで一生懸命やってきた首里城復元事業の龍柱や木彫刻の復元制作、下絵制作がこのような賞につながったと思います。40年近く糸満市に住んでおり、文化施設の設立に携わるなど、糸満市に貢献できて光栄です」と話しました。

《表敬》



悔しかったけど、全力を出し切った

糸満ゴールドが県大会準優勝報告

7月20日(月)にオキハム読谷平和の森球場で開催された、第155回沖縄県学童軟式野球大会・第32回おきでん旗争奪学童軟式野球大会で、糸満ゴールドが準優勝の成績を収め、その喜びを報告するため、7月23日(木)に市役所を訪れました。キャプテンの伊敷勝貴さんは「全員の力を出し切りましたが、優勝まであと一歩届きませんでした。次の大会では、優勝を目指して練習を頑張ります」と話しました。

《贈呈式》



ジュシーを食べてクンチをつけよう!!

株式会社オーディフから子どもたちに ジュシーを1000食配布

8月21日(金)、株式会社オーディフから市内の子どもたちへジュシーの無償提供を実施するにあたり、糸満市立学校給食センターで贈呈式が行われました。当日は、市内の児童クラブや子どもの居場所など28団体へジュシーが配布され、ジュシーを受け取った参加者は、「夏休みで毎日のお弁当作りが大変なので、とても助かります。早速今日のお昼にみんなで食べます」と喜びを語りました。

《表敬》



基礎体力強化が実り、優勝旗が手元に

西崎柔道クラブが優勝、準優勝

7月4日(土)から行われた沖縄県中学校総合体育大会で、西崎柔道クラブが男子団体優勝、女子団体準優勝、男女個人でも10人が優勝、準優勝、3位とそれぞれ好成績を収め、その喜びを報告するため8月12日(水)に市役所を訪れました。チームを代表して金城郡侍さん(西崎中3年)は「九州大会では、決勝に進める実力があってと思いました。チームワークが良く、全員で頑張りました」と報告しました。

《催し》



綱引きの後は土俵で勝負!

武富綱引き・角力大会

8月1日(土)、武富児童公園で武富綱引き、武富公民館で角力大会が行われ、多くの区民が参加しました。区民らは、東と西に分かれて綱を中央に担ぎ寄せ、カヌチ棒が入ったと同時に綱引きが開始。両者譲らぬ戦いで、1回目は東、2回目を西と勝利を分け合いました。綱引き後は、青年会主催の角力大会が行われ、子どもから大人まで、幅広い世代が角力を楽しみ、拍手や声援が区内に響き渡りました。

《寄贈》



サバニで海人のまちを表現

山城東雄さんから水彩画寄贈

7月31日(金)、一級建築士の山城東雄さんから糸満ハーレーを題材にした水彩画の寄贈がありました。山城さんは15年ほど前から絵画を学び始め、さまざまな題材で水彩画を描き、4月に開催した展示会では、販売した画の売り上げを子どもの貧困解消を目指すプロジェクトへ寄付。山城さんは、「海人のまち糸満を表現することができました。ぜひ市民の皆さんに見ていただきたいです」と話しました。